

「明治安田新発展プログラム(2011年4月～2014年3月)」の経営目標を追加
～企業価値の向上に向けて「企業価値（EEV）」を経営目標化～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、「コンプライアンスの徹底を含めたCSR経営の推進」と「お客さま満足度向上の徹底追求」を基本に、市場構造変化への的確な対応を図ることで、将来にわたる安定的成長の実現をめざし、「中期経営計画」と「MOTプロジェクト[第Ⅲ期]」で構成する「明治安田新発展プログラム(2011年4月～2014年3月)」に取り組んでいます。

本プログラムでは経営目標として、個人営業分野の「保有契約年換算保険料」と法人営業分野の「収入保険料」を設定しています。このたび、これらに加えて、欧州などの生命保険会社で一般的となっている企業価値の指標であるヨーロッパ・エンベディッド・バリュー（EEV）を「企業価値（EEV）」として経営目標に追加いたしました。

EEVは、EVの計算方法のうち、市場と整合的に評価した先進的な手法の一つであり、日本においてもこれを開示する保険会社が増えています。当社では、企業価値の向上をめざすにあたりEEVが最適な指標であると考え、経営目標としたものです。

「明治安田新発展プログラム」では、これらの目標達成を通じ、安定的な成長をめざします。

■ 「明治安田新発展プログラム」における経営目標

目標項目	2013年度目標
個人営業分野の保有契約年換算保険料	19,600億円 (2010年度決算比+9.3%)
法人営業分野の収入保険料	10,500億円 (2010年度決算比+5.2%)
〈追加〉企業価値（EEV）	29,000億円(注) (2011年3月末比+30%)

(注) 経済環境の前提が現在の水準で推移すると仮定しています

なお、EEVの詳細につきましては、本日付ニュースリリース「2011年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

以 上